

# 翔

No. 5

8. VI. 1979

百万石蝶談会

TOBU: HYAKUMANGOKU TYÖDANKAI

よまかせの精

## — Zephyrus 特集 — by. H. Yoshimura

はじめに、

過去、多くの方々の苦勞により、県内産の蝶類に関するデータが、山のように積み重ねられております。そのデータを、できる限り、わかり易いように、種別に集め、一目でわかる地図をそえたものを、作ろうと思い、ペンを執りました。データについては、できる限り、確実なものをそろえ、蝶談会員の所有標本を中心に、過去の文献も、つけ加え、県内広くの分布を明らかにしようと思っております。なにぶん、若配ゆえ、力の足りないのも十分に承知した上、勉強にもなると思ひ、いろいろな文献も調べてみました。データを提供して下さった方、文献を参考にさせて頂いた方に、厚く、感謝したいと思ひます。データを提供して下さった方も、限られたメンバーでもありますので、もっと他にも、採集しているなどとの御指摘があれば、幸いかと思ひます。また、これを機会に、県内産の蝶、全種にわたるデータの整理を、手分けして、進めることを、期待します。また、新産地の発見などにも、御利用下さい。

現在、県内に産する Zephyrus は、

ウラコマタラシジミ、ウラキンシジミ、ムモンアカシジミ(?) アカシジミ、  
ウラナミアカシジミ、オナガシジミ、ミスイロオナガシジミ、ウスイロオナガシジミ、  
ウラムスジシジミ、ウラクロシジミ、ミドリシジミ、メスアカミドリシジミ、

アノミドリシジミ、フジミドリシジミ、オオミドリシジミ、エゾミドリシジミ、  
ジョウザンミドリシジミの 17 種とされて、おりますので、順を追って、  
各種ごと、まとめていきたいと思います。

# 1. ウラゴマダラシジミ

*Artopoctes pryori* MURRAY.

採集現記録 ●  
文献旧記録 ■



## 《分布》

本種の、県内における確実な分布は、医王山、犀川ダム、倉ヶ岳を中心とした、やや山手の地域と、白山麓、中宮、岩間、幽や、六万山周辺である。が、食草であるイボタ類が、広く分布するようなので、調査のなされていはい。加賀地区の山地、性の地域にも産するのではないが、能登地区では、武藤氏の文献で、「七尾」という産地があげられている。

## 《出現期》

本種の出現は、他のゼフに比べて、早く金沢市郊外では、6月の中旬から、データが出ている。(中に、5月末というデータもある。)

6月の中旬～下旬が最盛期のようで、

7月上旬に、筆者の採った個体は、ホロであった。また、標高が1000m前後となる、白山麓、六万山あたりでは、7月末～8月初まで、成虫が見られるようである。

## == データ ==

	採集年月日	羽化年月日	by
○ 2 exs	金沢市医王山	1971. VII. 13	エカ# (R)
○ 1 ex	金沢市伊弉山	1972. V. 25	入場
○ 18399	金沢市平等本町	1972. VI. 18	松井
○ 18	金沢市医王山	1972. VI. 24	エカ#
○ 19	"	1972. VI. 28	"
○ 19	白山六万山	1972. VII. 31	松井

- 1♂ 金沢市医王山 1973. vi. 24 さか井
- (目) 1ex " 1973. vii. 6 "
- 1♀ 金沢市山科 1977. vi. 19 松本和馬
- 1♂ 金沢市医王山 1978. vii. 4 吉村

(採卵)

- 16卵(1卵塊) 金沢市夕日寺 (生卵) 1978. xii. 10 松本
- 2卵, 8卵(2卵塊) " (寄生卵) " "
- 8卵(1卵塊) 金沢市医王山 (寄生卵) " "

==== 分献による旧産地 ====

- 小平沢, 小原, 白山大万山, 金野村(小松市花坂町)
  - 武藤明(1958) 石川県の蝶 とくりぼち No. 6: 2-17
- 倉岳 (1954. vii. 4) 小松市仏大寺, 日尾, 中宮
  - 武藤明(1960) 石川県の蝶(II) とくりぼち No. 9: 4-6
- 倉岳部落 (1971. vii. ○ 1♀)
  - 時国建太郎(1972) 蝶の新産地 とくりぼち No. 22, 23: 4-6
- 四十万~倉岳の林道
  - 時国建太郎(1974) センズノ採卵 とくりぼち No. 24, 25: 3-4
- 大杉谷 (where?)
  - 富樫一丈(1975) 大杉谷採集行 とくりぼち No. 28, 29: 9-10
- 柳谷, 市瀬, 岩間, 中宮, 岡吹峠, 倉岳, 小平沢, 富樫, 新保, 小原, 日尾池  
七尾
  - 武藤明(1971) 石川県のトホとチウ, II, 石川県の蝶相.  
石川虫学会特別報告 2号: 14

以上、ウラボタラシジミでした。

## 2 ウラキシジミ

*Ussuriana stygiana* BUTLER

- 採集現記録
- 文献旧記録



### 《分布》

本種も、医王山やキコ山、倉ヶ岳など、やや山手の地域や、岩間岬、六万山などの白山地帯に、生息しているようである。まだ、未公開であるが、国見の方でも、つい最近、幼虫が採れた話を聞くので、生息は確実。今年になつても、松井氏、野中氏からも、幼虫採集を聞いているので、以外と多くいるのでは？

### 《出現期》

医王山での出現は、6月の下旬から、7月の中旬ころであり、栗の花上で吸蜜に来ている。

白山地方では、岩間岬の7月下旬のデータがあるだけなので、よくわからないが、その前後であると思われる。

- ◎ 本種の採卵は、モクセイ科アオダモ類であるが、トネリコから採れたという記録は、ないようなので、トネリコを調べてみては。

### データ

		採集年月日	羽化年月日	by (氏)
○ 2exs	白山、岩間岬	1970, VII. 26		エカ井
○ 1ex	金沢市 医王山	1972, VII. 1		"
○ 3exs	金沢市 キコ山	1972, VII. 2		松井
○ 1ex 1♀	金沢市 医王山	1972, VII. 16		エカ井
○ 3exs	"	1973, VII. 6		"

- ○ 金沢市田上町 1975.VI.22 井村
- ○ 金沢市医王山 1975.VII.13 "
- 1ex " 1977.VII.2 寺川井
- ○ " 1977.VII.3 井村
- ○ " 1977.VII.8 "
- 1ex 順尾山北方標高600m付近 幼虫 (2回採集) 1978.V.14 死亡 野中
- 1ex 金沢市倉ヶ岳 1978.VII.8 入場
- 5卵 順尾山北方標高600m付近 卵 (2回採集) 1978.XII.10 野中
- 10卵 金沢市見上峠 1978.XII.24 井村

==== 文献による旧産地 ====

- 白山. 三ノ峰  
 ——— 武藤明 (1958) 石川県の蝶 とくりぼち No.6: 2-17
- 金沢市医王山 5ex 1972.VI.28 見上荘 ~ 重山道路入口  
 1ex 1972.VI.30 葦広峠 手前 1km 栗の花上  
 ——— 山崎井淳郎 (1973) 医王山産の蝶 とくりぼち No.24,25: 3-4.
- 別当出合. 六万山. 岩間. 倉ヶ岳. 成ヶ山. 内川.  
 ——— 武藤明 (1971) 石川県のトンボとチウエ. 石川県の蝶相  
 石川虫の会特別報告2号

### 3. ムモンアカシジミ *Shirozua jonasi* JANSON

会員におりデータは、なかったが、確実な旧データがあるので、7月下旬に調査が必要

==== 文献におり旧記録 ====

- |   | 採集年月日                               | by (氏) |
|---|-------------------------------------|--------|
| ○ 2♂ 白山中宮 山                                 | 1958.7.27                           | 水上     |
| ○ 1♂ 〃                                      | 1958.7.28                           | 近藤     |
| ————— 武藤明 (1960) 石川県の蝶 (II) とくりぼち No.9: 4-6 |                                     |        |
| ○ 白山地方. 湯の谷. 中宮                             | ————— 武藤明 (1978) 石川県の自然環境 4: 61-67. |        |

# 4. アカシジミ *Japonica lutea* HEWITSON



## 《分布》

アカシジミは、県内の低山帯のクヌギ、コナラ林に広く分布する。

文献によると、奥能登にも産するようで、嵯峨井さんの努力により、口能登、宝蔵山にも産することか

明らかになりました。加賀地区の低山、山地帯では、幅広く、かつ、多数生息し

ているようです。医王山とその周辺、俵、などや、犀川谷下流の吉次山周辺、また、小原、大平沢、国見山や、倉ヶ岳を中心とするそのまわりの、窪、坪野平栗、清瀬などにも、データがあり、連続的に生息しているようです。また、白山の六万山や、辰口町、山中町、中海村にも記録があります。

小坂 徹(1954) 石川県産蝶類目録より

## 《出現期》

セツの中では早い方、6月の10日前後からいるが、

医王山では、6月中旬ごろから出現し、7月までいるが、7月に入るとボロが多。白山地方では、データがなく、文献記録のみなので、発生時期は、医王山よりおそく、7月頃でしようとしておきます。

## データ

	採集年月日	羽化年月日	by (氏名)
○ 1♂	金沢市野田山	1966. VI. 18	さか井
○ 1♂	金沢市朝日	1970. VII. 2	〃
○ 1♂	〃 四坊高坂町	1971. VI. 6	〃
○ 1♀	金沢市大平沢	1971. VI. 19	松井
○ 2♂5♀♀	〃	1971. VI. 20	〃
○ 2♀	〃	1972. VI. 14	〃
○ 1♀	〃	1972. VI. 20	〃
○ 2ex0	〃 医王山	1972. VI. 24	さか井
○ 4ex0	〃	1972. VI. 25	〃
○ 2ex0	〃	1973. VII. 6	〃
○ 1♂	〃	1974. VII. 1.	〃

○ 1♀	金沢市 医王山	1974 VII 2	さか井
○ 10x	押水 宝庫山	1974 VII 20	"
○ 1♂	金沢市 俵町	1975 VI 22	井村
○ 3ex	" 医王山	1975 VI 24	さか井
○ 2ex	" "	1975 VI 29	"
○ 1♂2♀♀	" "	1975 VI 29	井村
○ 10x	" "	1975 VI 30	さか井
○ 1♀	" "	1975 VII 6	井村
○ 1♀	" "	1975 VII 13	"
○ 2ex	" 倉ヶ岳	1976 VI 27	橋場
○ 1♀	" 医王山	1976 VII 3	井村
○ 1♀	" "	1976 VII 17	さか井
○ 2♂1♀	" "	1977 VI 26	井村
○ 1ex	" "	1977 VII 2	さか井
○ 2♂♂	" "	1977 VII 8	井村
○ 1ex	吉次山 標高500m 榎 幼虫 (ミズナラ)	1978 V 3	1978 V 27 野中
○ 2ex	" " "	"	1978 V 28 "
○ 1ex	犀川 熊走の少し 舞 "	1978 V 5	死亡 "
○ 1ex	加賀市 山中町 山中 虫	1978 VI 9	松本
○ 3♂♂	金沢市 小原町	1978 VI 12	松井
○ 2ex	" 医王山	1978 VI 13	吉村
○ 1♀	" 倉ヶ岳	1978 VI 18	井村
○ 4ex	" 医王山	1978 VI 26	はしは"
○ 3♂3♀	" "	1978 VI 30	井村
○ 1卵	杖川 鷲走谷 出合 卵 (ウラシガシ)	1978 X 22	野中
○ 1卵	金沢市 医王山 卵 (ミスナラ)	1978 XI 3	"
○ 2卵	大聖寺川 我谷の 舞 卵 (ウラシガシ)	1978 XI 12	"
○ 2卵	吉次山 標高500m 榎 卵 (ミスナラ)	1978 XI 23	"

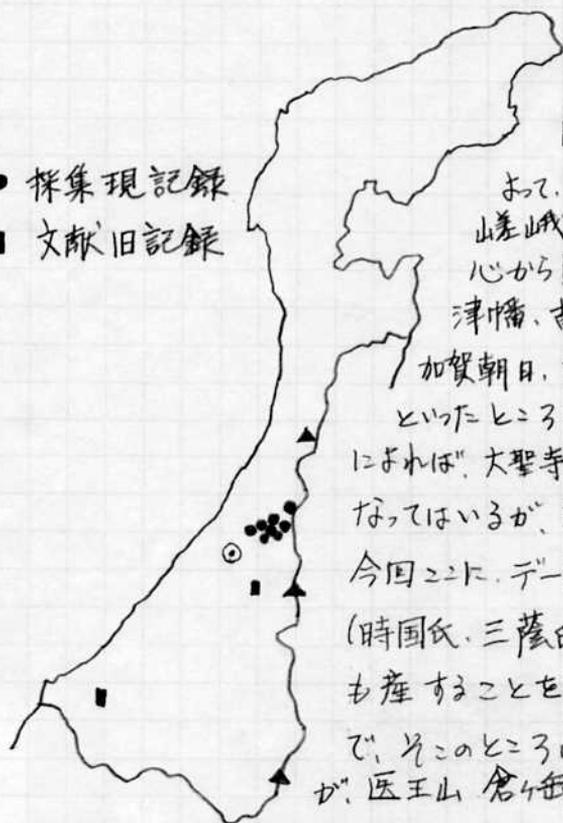
—— 文献による旧産地 ——

- 小松市 中峠町, 向山, 三小牛, 野田山, 別所, 坪野, 瀧平栗, 倉ヶ岳, 国見山, 白山, 医王山  
—— 武藤明 (1960) 石川県の蝶. とくりはち No. 6: 2-17
- 輪島市 町野町  
—— 時國建太郎 (1972) 蝶の新産地 とくりはち No. 22, 23: 4
- 加賀地方 低山~山地帯, 白山, 大石山, 辰口町, 清瀬, 卯辰山, 鈴見山.  
—— 武藤明 (1971) 石川虫の会. 特別報告: 14
- 珠洲市  
—— 松板章 (1976) 珠洲市の動物. 石川県珠洲市史

# 5. ウラナミアカシジミ

*Japonica saepestriata* HEWITSON

- 採集現記録
- 文献旧記録



## 《分布》

本種の、県内における分布解明は、山崎井氏によるところが多い。

さて、今回集めたデータも、ほとんどが山崎井氏のものであるが、金沢市の中心から見て、北東部にあたる、森本～津幡、吉原、北千石、朝日、四坊高坂、

加賀朝日、南千石、中尾、土子原、今泉、松根といったところが産地として上げられる。文献によれば、大聖寺や犀川の奥にも産したことになるが、現在ではわからない。しかし、今回このデータを提供された方々、

(時国氏、三蔭氏)によって、加賀地方の辰口にも産することを知った。筆者は、若齢なので、そのところはわかりません。また、多くのセウが、医王山、倉ヶ岳山塊に生息しているのに、

本種は、ややはずれた北部に産し、医王山や倉ヶ岳にデータがないのは、たいへん、おもしろい事実だと思います。

## 《出現期》

セウの間では、早い方で、6月の中～下旬ごろ。

## データ

		採集年月日	羽化年月日	by
○ 2♂	金沢市北千石	1970.VI.21		山井
○ 2♂	〃 地代	〃		〃
○ 1♀	〃 加賀朝日	〃		〃
○ 1♀	〃 四坊高坂	1970.VI.28		〃
○ 1♂	〃	1970.VII.10		〃

○ 182♀	金沢市四坊高坂町	1970 VII 12	さか井
○ 181♀	〃 松根	1971 VI 18	〃
○ 2exs	〃 南千石	1971 VI 20	〃
○ 1♀	〃	1971 VI 21	〃
○ 385♀	〃 松根	1971 VI 22	〃
○ 1♂	〃	1971 VI 24	〃
○ 381♀	〃 四坊高坂	1971 VI 25	〃
○ 3exs	〃 地代 幼虫(72キ)	1972 V 10	〃
○ 2exs	〃 南千石	1972 V 13	〃
○ 2♂	〃	1972 VI 14	〃
○ 1♂	〃	1972 VI 15	〃
○ 1♂	〃 中尾	1972 VI 17	〃
○ 1♂	〃 南千石	1972 VI 18	〃
○ 184♀	倶利伽羅	1973 VI 23	〃
○ 681♀	北千石	1976 VI 20	〃
○ 3♂	倶利伽羅	〃	〃
○ 1♀	〃	1977 VI 29	井村

==== 文献による旧産地 ====

- 大聖寺 作見
  - 武藤明 (1978) 石川県の自然環境 4: 61-67
- 屏川村 字日尾 1957. VII. 14
  - 今井宏二, 勝田博 (1957) 金沢市南部の蝶を採集す.  
とくりにばち No. 5: 9
- 森本 ~ 津幡, 吉原, 北千石, 朝日, 四坊高坂, 加賀朝日, 南千石, 中尾, 土子原, 今泉, 松根町
  - 嵯峨井淳郎 (1973) 金沢北部地区におけるウラミアカシジミの去勢 とくりにばち No. 24, 25: 2-3
- 23-VI-1973 184♀  
倶利伽羅 古戦場  
医王山 ~ 森本 ~ 津幡 ~ くらら ~ 石動
  - 嵯峨井淳郎 (1974) 蝶の新産地紹介 とくりにばち No. 26, 27  
6-7

## 6. オナガシジミ *Araragi enthea* JANSON

《分布》 成虫の標本データは集まらなかつたが、極、最近の採卵データと文献により、県内での生息は確実。犀川や湯涌付近のクルミ類から採卵された。また、文献の白山中宮山においても、蛇谷にクルミがたいたへんタツことからも、生息していると思われる。

《出現期》 今のところ不明。

### ==== 採卵データ ====

卵数	採卵地	採卵日	採卵者
3卵	金沢市湯涌白見谷	1978.XI.19	by (氏) 松本
4卵	” 卵(ホナグミ)	”	野中
2卵	” 犀川ダム下流	1978.XII.17	井村

### ==== 文献による産地 ====

- 白山中宮  
—— 武藤明 (1958) 石川県の蝶 とくりばち No. 6: 2-17
- 犀川ダム  
—— 武藤明 (1972) 石川県のトボヒチョウに関する追加資料 生物研究 (雫井) X.VI. 1.2: 15-16

## 7 ミズイロオナガシジミ

*Antigius atilia* BREMER

《分布》

今回集めたデータと文献記録をみてみると、本種が県内に広く分布することは明らか。口能登で、嵯峨井氏により、宝蔵山に産することかわかっているが、奥能登での記録は、見当たらなかつた。加賀地区では、広く分布し、倶利伽羅～森本、医王山、倉ヶ岳、犀川上流とよの周辺、辰口、山中、小松、白山地方、中宮、若間、が記録されている。



《出現期》 他の多くのセツと同様、医王山付近で6月下旬～7月上旬、  
 白山での成虫記録がないので、はっきりしない。が、医王山より、1、2週間  
 遅れてしまう。

==== データ ====

○ 3♂4♀	金沢市北千石	1970. VI 21		50#
○ 1ex	" 駒帰	1970. VI 28		松井
○ 7exs	" 大平沢	1971. VI 19		"
○ 2exs	" "	1971. VI 20		"
○ 4exs	" 地代 幼虫(クヌギ)	1972. V 10		50#
○ 1ex	" 南千石 "	1972. V 13		"
○ 1ex	" 平等本町	1972. VI 18		松井
○ 2exs	" 医王山	1972. VII 9		50#
○ 2exs	倶利伽羅	1973. VI 23		"
○ ○ 確認	金沢市 鈴見山	1974. VI		井村
○ 2♂	押水 宝産山	1974. VII 20		50#
○ 6exs	金沢市 医王山	1975. VI 20		井村
○ 1ex	" "	1975. VI 29		"
○ 2exs	" 倉ヶ岳	1975. VII 6		50#
○ 2exs	" 北千石	1976. VI 20		"
○ 1ex	倶利伽羅古戦場	"		"
○ 7exs	金沢市 倉ヶ岳	1976. VI 27		橋場
○ 2exs	" 医王山	1976. VI 30		50#
○ 1♂1♀	" "	1976. VII 2		"
○ 1♂	" "	1976. VII 4		"
○ 2exs	" <sup>20</sup> 幼虫(ミヅナ) 餌で飼育		1977. V. 30	松本
○ 1ex	" 俵		1977. VI 3	井村
○ 1ex	" 医王山	1977. VI 26		"
○ 2exs	" "	1977. VI 28		"
○ 1ex	" "	1977. VII 2		"
○ 3exs	" "	1977. VII 8		"
○ 1ex	吉次山 標高500位 幼虫(ミヅナ)	1978. V. 3	1978. VI 4	野中
○ 2exs	順尾山 600 "	1978. V 7	1978. VI 8	"
○ 1ex	" "	1978. V 14	1978. VI 9	"
○ 1ex	中宮道 1200 "	1978. V 28	死亡	"
○ 1ex	金沢市 小原	1978. VI 12		松井
○ 1ex	" 医王山	1978. VI 26		橋場
○ 4exs	" "	1978. VII 1		吉村
○ 1卵	山中町 片谷 卵(ウラボシガエ)	1978. XI 12		松本
○ 1卵	金沢市 園見山 卵(ミヅナ)	1978. XI 18		野中
○ 1卵	" 医王山 "	1978. XII 10		松本

==== 文献にお産地 ====

○ 作見 金野村 野田山 向山 三村 別所 平栗 小原 坪野 彦 樫見 中 中国見山 医王山 白山

———— 武藤明 (1958) 石川県の蝶 6: 2-17

○ 白山 (六万山, 三ッ谷, 岩間, 中宮) 遊泉寺 辰口 倉ヶ岳 清瀬 住吉

———— 武藤明 (1971) 石川虫の会 特別報告

## 8. ウスイロオナガシジミ *Antigius butleri* FENTON



### 《分布》

本種も 医王山付近に生息するが、非常に数が多い。能登の方には記録が、なく、白山地方も中宮にあるだけ。また倉ヶ岳のデータも集まらなかった。白山の六万山の方や、倉ヶ岳の方は、調査してみれば、はるばるするが、いるのでは？ ただし、福井県の方では少ないということですから、県境の山中や白山地方に、生息するかはわからない。

### 《出現期》

医王山での出現は、6月下旬から、7月下旬まで。筆者の採った限りでは、クワの花のあるところが多いが、そんなとに限らず、どこにでも、たくさんいる模様。

### ==== データ ====

採集日	産地	採集者
18	金沢市 医王山	1971 VII 24
18	"	1972 VII 16
1ex	"	1973 VII 6
1ex	"	1974 VII 10
29	"	1974 VII 29
2exs	"	1975 VI 29
1ex	"	1975 VII 5
2exs	"	1975 VII 6
1ex	"	1975 VII 13

○ 1♂	金沢市 医王山	1976 VII 4	5が井
○ 4exs	"	1976 VII 17	"
○ 1ex	"	1977 VI 29	井村
○ 1ex	"	1977 VII 2	"
○ 7exs	"	1977 VII 2	5が井
○ 1ex	"	1977 VII 3	井村
○ 4exs	"	1977 VII 8	"
○ 3exs	" 尾谷峰(国見の奥)	1977 VII 14	松井
○ 1ex	" 横尾山北方600位 幼虫(シナラ)	1978.V.14	(羽化) 野中
○ 1ex	" 中宮道 1200位 "	1978.V.28	死七 "
○ 3♂1♀	金沢市 医王山	1978 VI 26	橋場
○ 7exs	"	1978 VI 30	井村
○ 2exs	"	1978 VII 1	松井
○ 4exs	"	"	5が井
○ 2exs	" 国見山	1978 VII 2	野中
○ 2exs	" 医王山	1978 VII 4	吉村
○ 1ex	"	1978 VII 9	野中
○ 1ex	瀬波谷	"	松井

==== 文献 ====

- 2exs (30. VII 1971. 菱広峠手前1km)
- 1ex (16 VII 1972. " )

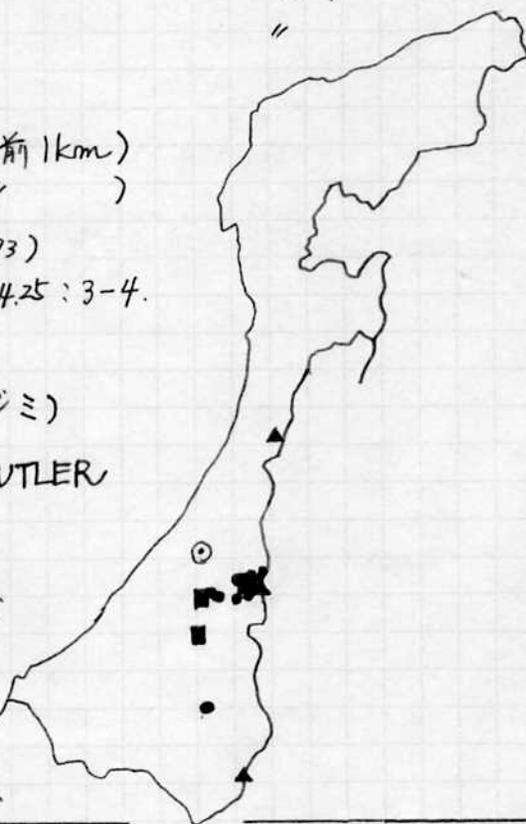
—— 嵯峨井淳郎 (1973)  
 医王山産の蝶 とつりぼち 24.25:3-4.

9. ウラミスジシジミ  
 (タイセンシジミ)

*Wagimo signata* BUTLER

《分布》

本種が、県内に産するコトが  
 明らかになってから、まだ、あまり  
 たっていないというコトを聞いた  
 が、文献も、あまりない。  
 したがって、集まったデータで、



みてみると、医王山・倉子岳とその周辺に産し、岩間山にも産する。また、十分は調査がほえていたためであるが、能登や、白山地方の記録がない。これから、多くの産地が出ることを期待する。

《出現期》

医王山付近で、6月下旬～7月下旬。だいたい、他のセウと同じ。

—— データ ——

○ 1♂	金沢市キコ山	1971. VI 24	松井
○ 1♀	〃 大平沢	1971. VI 26	〃
○ 4exs	〃 医王山	1971. VII 13	エカ井
○ 2♂	〃	1971. VII 24	〃
○ 1♂	〃 キコ山	1972. VI 24	松井
○ 3exs	〃 医王山	1972. VII 1	エカ井
○ 1♀	〃 キコ山	1972. VII 2	松井
○ 1♂	〃 医王山	〃	〃
○ 7exs	〃	1972. VII 8	エカ井
○ 4exs	〃	1972. VII 9	〃
○ 1♂	〃	1972. VII 16	〃
○ 1♀	〃	1972. VII 21	〃
○ 1ex	〃	1974. VII 1	〃
○ 1ex	〃	1974. VII 2	〃
○ 1♀	〃	1975. VI 29	井村
○ 1ex	〃	1975. VII 5	エカ井
○ 4exs	〃	1976. VII 2	〃
○ 1♂	〃	1976. VII 3	井村
○ 1ex	〃	1976. VII 17	エカ井
○ 1♂1♀	〃	(羽化) 1977. VI 2	井村
○ 2♂	〃	1977. VI 3	〃
○ 1♀	〃	1977. VI 4	〃
○ 1♂	〃	1977. VI 26	〃
○ 1ex	〃 医王山地方 600位 標高	1978. V. 7	野中
○ 4exs	〃 金沢市 住吉町	1978. VI 24	〃
○ 2exs	〃 〃 医王山	〃	橋場
○ 1ex	〃	1978. VI 29	エカ井

○ 1ex	金沢市 医王山		1978 VII 30	野中
○ 1ex	" 国見山		1978 VII 2	"
○ 1♂	白山. 岩間 池		"	松井
○ 4卵	金沢市 医王山 卵(ミナト)		1978 XI 3	野中
○ 4卵	" "	"	1978 XI 11	"
○ 3卵	" 国見山	"	1978 XI 25	"
○ 4卵	" 医王山	"	1978 XI 26	"
○ 2卵	" "	"	1978 XII 7	"
○ 2卵	順尾山北方 600m 付近	"	1978 XII 10	"

==== 文献による旧産地 ====

- 4ex (13. VII 1971 医王山 重山 道路)
- 1ex (28. VI 1972 見上 ~ 重山 入口)
- 8ex (8. VII 1972 重山 道路)
- 1ex (16. VII 1972 菱広 峠)

==== 嵯峨井 淳郎 (1973) 医王山産の蝶 とくやばり 24.25 : 3-4

○ 板尾, 日尾池, 大平沢

==== 武藤 明 (1972) 石川県の新ウツボトモに関する追加資料  
生物研究(福井) XVI 1.2 : (5-16).

○ 倉ヶ岳 5-VII-1970.

==== 武藤 明 (1971) ウラミスジ 金沢に産す.

蝶と蛾 Vol. 22. No. 1 No. 2 : 62.

嵯峨井氏の記によると, 最近, ウスロオチガが増え, ウラミスジが減少してきているようです。早く, ウラミスジをたくさん採らねば。

と, 他の所から, 新産地を出しましょう。

# 10. ウラクロシジミ *Iratsume orsedice* BUTLER



## 《分布》

本種も、医王山とその周辺や、小原、大平沢、中宮山、岩間山、白山三ッ谷、山中山などに生息している。生息場所には、かなりたくさんいる模様。

## 《出現期》

地域によってか例、ばらつきがあるが、南の県境の山中山では6月10日ごろからいるが、医王山～小原では、6月の中旬～7月中旬と、時期が長く、白山地方でも、三ッ谷の7月初めかあると思えば、中宮、岩間山では、7月末にも採れているといった次第である。

== テ-タ ==

○ 1♂	白山岩間山	1966. VII. 28	さか井
○ 1♂	金沢市 額谷町	1971. VI. 19	〃
○ 2♂	〃 大平沢	〃	松井
○ 2♂2♀	中宮、霧晴峠	1971. VII. 11	〃
○ 1♂1♀	金沢市 医王山	1972. VI. 24	さか井
○ 1♂1♀	〃	1972. VI. 25	〃
○ 2♂	〃	1972. VI. 28	〃
○ 1♀	〃	1972. VII. 21	〃
○ 1♂1♀	中宮、湯谷頭	1972. VII. 22	松井
○ 1♂1♀	金沢市 医王山	1973. VII. 6	さか井
○ 1♂	〃	1974. VII. 1	〃
○ 1♂	〃	1974. VII. 2	〃
○ 1♂	〃	1974. VII. 7	〃
○ 1♂1♀	〃	1975. VI. 26	井村
○ 4♂	〃	1975. VI. 29	〃
○ 1♂	〃	1975. VI. 29	さか井
○ 1♂1♀	〃	1975. VI. 30	〃

○ 1♂	金沢市医王山		1976 VII 30	50井
○ 1♀	〃		1976 VII 3	井村
○ 1♂	〃		1977 VII 2	〃
○ 2♂1♀	〃		1977 VII 2	50井
○ 2♂	白山, 三ツ谷		1977 VII 3	〃
○ 2♂2♀	金沢市医王山		1977 VII 3	井村
○ 2exA	中宮温泉	幼虫 (マルバマンサク)	1978 V 28	野中
○ 1♂	加賀市山中町也		1978 VI 9	松本
○ 2♂1♀	金沢市小原		1978 VI 12	松井
○ (目)	〃 倉ヶ岳		1978 VI 18	井村
○ (用)	白山峰村桑島		〃	〃
○ 9♂1♀	金沢市医王山		1978 VI 24	〃
○ 1♂1♀	〃		1978 VI 26	ほしは
○ 2♂1♀	〃		1978 VI 30	井村
○ 2♂	〃		1978 VII 1	若村
○ 1♀	〃		1978 VII 5	〃
○ 3卵	〃	卵 (マルバマンサク)	1978 XI 3	野中
○ 3卵	〃	〃	1978 XI 11	〃
○ 1卵	〃 国見山	〃	1978 XI 18	〃
○ 1卵	〃 順見山 地均 600m 植	〃	1978 XI 10	〃

—— 文献上採産地 ——

- 白山, 三山, 岩間也, 六万山, 別当出合, 倉ヶ岳

—— 武藤明 (1958) 石川県の蝶 とつりばち 6 : 2-17

- 内川, 天池坂, 1♂ 目撃 1971. 6月

—— 時国建太郎 (1972) 蝶の新産地 とつりばち 22.23 : 4

- 金沢市医王山

—— 嵯峨井淳郎 (1973) 医王山産の蝶 とつりばち 24.25 : 3-4

- 中宮也 倉ヶ岳 内川 樫見, 成ヶ山等.

—— 武藤明 (1971) 石川虫の会. 特別報告

# 11. ミドリシジミ *Neozephyrus taxila* BREMER



- データの集まった所
- 文献による産地

## 《分布》

ミドリシジミは、県内に広く分布していると考えられる。ハンノキが広範囲にあるものなので、データの少ない所でも、かなり連続的に生息していると思われる。能登半島では、宝蔵山、羽咋、石動山、珠洲、高州山に記録がある。金沢～津幡～倶利伽羅にも、数多く産し、医王山とその周辺、倉岳とその周辺の、小原山科、キコ山、湯涌、天池にも産する。卯辰山にもいる。また、直海谷、瀬波谷にもおり、辰口大聖寺でも生息している。白山地方では、岩間、比内、六万山、市瀬にもいるもよう。

## 《出現期》

他のセフと、ほぼ同じ頃であるが、ちょっと遅い。6月の下旬に、出はじめ、7月の中、下旬までいる。白山地方の、岩間のデータは、7月の末、金沢方面でも、8月まで成虫がいる。

## データ

○ 1♀	白山岩間		1966 VII 28		エカ井
○ 1♂	金沢市塚崎町	幼虫	1970 V 25	1970 VI 18	〃
○ 2♀	〃	〃	〃	1970 VI 22	〃
○ 1♀	〃	〃	〃	1970 VI 27	〃
○ 1♂	金沢市四坊高坂町		1970 VI 26		〃
○ 2♂	〃		1970 VI 28		〃
○ 1♂	〃 深谷池		1970 VI 26		〃
○ 2♂	〃 四坊高坂町		1970 VII 2		〃
○ 2♀(0)	〃 朝日町		〃		〃
○ 8♂	〃 四坊高坂町		1970 VII 4		〃
○ 1♂	〃		1970 VII 5		〃
○ 1♂	〃		1970 VII 10		〃
○ 4♀	〃		1970 VII 12		〃
○ 1♀	〃 北千石		1970 VII 3		〃
○ 1♀	〃 湯涌		〃		〃
○ 1♂	〃 四坊高坂町		1971 VII 3		〃
○ 2♂♂5♀♀	〃 天池町		1971 VII 27		松井
○ 4♂♂	〃 天池町		1971 VII 29		〃

○ 40 exs	金沢市南千石	幼虫	1972. V. 17	26#
○ 20 exs	" 四方高坂	"	1972. V. 20	"
○ 4 exs	押水 東間	"	1975. V. 11	"
○ 7♂♂ 5♀♀	金沢市角間		1975. VI. 28.	#村
○ 1♂	" 俵		"	"
○ 1♀	" 医王山		1975. VII. 13	"
○ 1♂	" 卯辰山	幼虫(ハンキ)		1977. VI. 11 松本
○ 1♂	" 小原	"		1977. VI. 12 "
○ 1♂	" 山科町		1977. VI. 19	"
○ 1♀(0)	" 卯辰山	幼虫(ハンキ)		1977. VI. 14 "
○ 1♀(0)	"	"		1977. VI. 15 "
○ 1♀(AB)	"	"		1977. VI. 16 "
○ 1♀	白山 若間 池		1977. VIII. 16	#村
○ 確認	金沢市湯涌玉泉湖.		1978. V.	
○ 1♂	" 医王山		1978. VII. 5	吉村
○ 2♀♀	"		"	"
○ 目 1♀	加賀市保賀		1978. VII. 5	松井
○ 1♂	金沢市上辰巳		1978. VII. 6	野中
○ 1♀	瀬波谷		1978. VII. 9	松井
○ 2♂♂ 1♀(B)	金沢市上辰巳		1978. VII. 15	野中
○ 2♀♀	直海谷		1978. VII. 16	松井
○ 2♂♂	丸石谷 岩間		1978. VII. 30	"
○ 3♀♀	鶴尾町	卵(ハンキ)	1978. XI. 23	野中
○ 14卵	キコ山	"	1978. XII. 10	"
○ 63卵	菅池町	"	1978. XII. 16	"

==== 文献 ====

- 七尾. 石動山. 羽昨 ——— 川瀬英爾. 大車籠一益子帰来也 (1975)  
七尾鹿島地区自然環境調査報告書 昆虫: 3-17
- 内川 1956. VIII ——— 細川良寿. 田川国土. 小山千蔭 (1957)  
内川付近の蝶. とくりばち No. 3: 24
- 島越村 中海村 大聖寺町. 高築山. 何山. 三小牛 湫. 別所. 富樫  
—— 武藤明 (1958) 石川県の蝶 とくりばち No. 6: 2-17.
- 7月上旬. 宝庫山 ——— 砂山博 (1975) 羽昨地方の蝶の目録. とくり 30.31: 1-3
- 白山六万山. 柳谷. 市瀬. 岩間. 中岩. 小松仏大寺 遊泉寺. 珠洲市  
—— 武藤明 (1977) 石川虫の会. 特別報告. 14.
- 鞍掛山 ——— 小坂巖 (19□□) 山代周辺の昆虫.
- 高州山 (1952. VII. 15)  
—— 浅見行一 (1952) 能登半島北部の蝶類  
石川県生物学会誌 2(1): 55-56

## 12. メスアカミドリシジミ

*Chrysozephyrus smaragdinus* BREMER

《分布》 県内では、非常に数が少なく、金沢近郊では、医王山からしかデータが出ていない。その他、岩間山にも記録がある。

《出現期》 数少ないデータから見て、6月下旬～7月上旬。

—— データ ——

♂	金沢市 医王山	1973 VI 25	工か井
♂	"	1973 VII 6	"
♂♀	"	1978 VII 2	吉村
♂卵	" 卵(キマキマ?)	1978 XI 26	野中

—— 文献 ——

- ♂ 1♀ 白山岩間山 1957 VII 25 常木氏  
—— 武藤明(1960) 石川県の蝶(II) レイボウ 9:4-6

なお、野中氏の採卵 sex は、1979年に於て 2♂1♀が、成虫となったことは、翔(とぶ) No.4, P.9 に詳しく記されている。また、筆者の 1978. VII 2 の記録は昆虫と自然(1978) No.13 同好会別おしへん 特集 P.35 に、メスアカと載せたが、実は、当日、もう一匹、♂も、採集していたことを、ここに付記しておく。

## 13. アイノミドリシジミ

*Chrysozephyrus aurorinus* OBERTHÜR

《分布》

加賀地方の低山地帯あたりから、やや高いところまで、密と多少、分布しているようである。能登地方には、今のところ、データは出ていません。医王山で、多くの成虫が、採らわれていますが、園見、樫見の方でも、さかんに採卵記録が出ていますので、時期に搜してみると、成虫も多々と思います。

《出現期》

他のセウと同じ頃で、6月下旬～7月上旬頃。(医王山での話) 白山地方では、7月下旬～8月中旬の記録がある。

—— データ ——

♂	金沢市 医王山	1972 VI 25	工か井
♂♀	"	1972 VI 28	"
♂	"	1972 VI 30	"
♀	"	1976 VI 30	"



○ 1♀	金沢市 医王山		1976. VII 3		井村
○ 3♂	〃		1977. VII 2		エカ井
○ 1♂	一里野スキー場	卵(ミズナラ)	1978 I 20	1978 V 28	野中
○ 1♂	金沢市 医王山			1978 VI 5	井村
○ 1♀	〃			1978 VI 6	〃
○ 1♀	〃			1978 VI 7	〃
○ 1♂1♀	〃			1978 VI 21	〃
○ 1♀(AB)	〃 新保町		1978 VI 24		野中
○ 1♂	〃 医王山		1978 VI 26		橋場
○ 2♂	〃 倉ヶ岳		1978 VI 27		〃
○ 1♀(AB)	〃 医王山		1978 VI 30		野中
○ 1♂1♀	〃		1978 VII 1		エカ井
○ 5♂	〃		1978 VII 2		吉村
○ 1♀(A)	〃		1978 VII 9		野中
○ 1卵	小中町 片谷	卵(ウラシカシ)	1978. XI 12		井村
○ 2卵	金沢市 犀川松下流	〃	1978 XII 17		〃
○ 1卵	〃 医王山	卵(ミズナラ)	1978 XI 3		野中
○ 6	〃 国見山	〃	1978 XI 18		〃
○ 2	〃	〃	1978 XI 25		〃
○ 2	〃 医王山	〃	1978 XI 26		〃
○ 7	〃 新保町	〃	1978 XII 9		〃
○ 4	順尾山 北 標高600m付近	〃	1978 XII 10		〃
○ 1	金沢市 菅池町	〃	1978 XII 16		〃
○ 3	〃 医王山		1978 XI 5		松井
○ 8	〃 高尾山		1978 XI 11		〃
○ 18	〃 国見山		1978 XI 12		〃
○ 30	〃 駒帰		1978 XI 18		〃
○ 4	辰口町 和佐谷		1978 XI 22		〃
○ 2	金沢市 小原		1978 XI 25		〃
○ 8	〃 大平沢		1978 XII 11		〃
○ 4	〃 樫見		〃		〃
○ 2	〃 天池		〃		〃

### 文献

- 1♀ 1957. 8. 17 (白山六万山) 手塚氏  
—— 武藤明 (1958) 石川県蝶とくりに誌 No. 6 : 2-17
- 1♂ 1957. 7. 25 (白山六万山) 加戸氏  
—— 武藤明 (1960) 石川県蝶(Ⅱ)とくりに誌 No. 9 : 4-6
- 板尾 日尾池  
—— 武藤明 (1972) 石川県のチョウとトンボに 関する  
追加資料: 生物研究(福井) X-VI 1.2 : 15-16

# 14 フジミドリシジミ *Quercusia fujisana* MATSUMURA



《分布》  
 本種は、県内でも、あまり採集データがない。  
 フナの大木の上を飛ぶためであらう。概して、分布も局地的と考えられる。金沢市近郊では、医王山に確実に、生息し、白山地方では、岩間山、秋田道でもデータがある。特に湯谷、秋田道では、フナが非常に多く、採卵も多く採れているようである。能登地方では、現在、記録はない。

《出現期》  
 医王山では、6月中旬～7月初。白山地方では、8月中旬まで、成虫が見られる。

## データ

○ 1♀	金沢市 医王山		1972	V	25	エカ井
○ some(月)	〃		1975	V	24	〃
○ 2♂	〃		1975	V	29	〃
○ 1♂	〃		1975	VII	5	〃
○ 1♂	〃		1977	V	29	井村
○ 1♀	〃		(7711)		1978.V.26	〃
○ 1♀	丸石谷		1978	VIII	6	松井
○ 1♀	新岩間山		1978	VIII	13	吉村
○ 2卵	金沢市 医王山	卵	1978	XI	19	井村
○ 1卵	〃	〃	〃	〃	〃	入場
○ 11卵	白山、秋田道	卵 (フナ)	1978	XI	26	松本
○ 26卵	〃	〃	〃	〃	〃	入場
○ 28卵	〃	〃	〃	〃	〃	松井
○ 23卵	〃	〃	〃	〃	〃	井村

## 文献

- 白山山頂 (吹上げられたものである)。  
 —— 銀ヶ丘高生物部 金沢周辺の虫蝶 とつりばち No.5 : 10-12
- 白山湯谷、六万山  
 —— 武藤明 (1958) 石川県の虫蝶 とつりばち No.6 : 2-17
- 別山 —— 武藤明 (1971) 石川虫の会 特別報告 : 14

なお、フジミドリシジミの採卵については、翔羽 No.2 P.1 の井村正行氏の「フジミドリの採集記」を参照されたし。

15. オオミドリシジミ *Favonius orientalis* MURRAY



● データあり  
■ 文献による

《分布》  
集下データは、リナカウタガ、文献より、県内  
広範囲に分布するといえる。能登地区にも  
記録が、いくつかあり、金沢市郊、既知産地  
は、多い。白山地方、大石山、若間山、中宮山  
にも、生息している。

《出現期》  
他のセウと同じで、6月下旬～7月上旬であるが、  
やや、早めで、7月に入ると、いたんでいる。白山地方  
での出現期は、はっきりわからない。

データ

○ 1年	金沢市大桑町	1970	VI, 21	松井
○ 1年	〃 医王山	1972	VII, 9	エカ井
○ 1年	〃	1973	VI, 24	〃
○ 確認 1年	〃 鈴見山	1974	VI	井村
○ 1年	〃 医王山	1974	VII, 1	エカ井
○ 1年	〃	1975	VI, 29	井村
○ 2年	〃 倭	1975	VII, 6	〃
○ 1年	〃 倉ヶ岳	1976	VI, 27	はしは
○ 1年	〃 医王山	1976	VII, 2	エカ井
○ 2年	金沢市 医王山	1976	VII, 3	井村
○ 1年	中宮山 幼虫(ミヅナ)	1978	V, 28	死亡 野中
○ 2年	金沢市 医王山	1978	VI, 30	吉村
○ 1年	〃	〃	VII, 5	〃

文献

- 宝達山、宇出津 — 武藤明 (1963) 能登半島のトンボとヤゴ (2) 生物の研究 (福井) VII, 1, 2
- 小松市 観音山、鞍掛山、別所、三小川、倉ヶ岳、蓮池、中ノ、天池、白山  
— 武藤明 (1958) 石川県の蝶 とくりにあつち. No. 6: 2-17
- 191年 輪島市内 1954. 6. 26. 1年. 1951. 7. 18. 高州山  
— 日吉芳郎 (1971) 材ミドリノ思い出 とくりに No. 19, 20: 5
- 野田山、内川、天池坂  
— 時国建太郎 (1972) セファルスノ採卵 とくりに No. 21: 6
- 白山 (指尾、大石山、若間山、中宮山) 仙大寺、野田山、珠洲市  
— 武藤明 (1971) 石川虫学会 特別報告: 14
- 珠洲市  
— 松枝章 (1976) 「珠洲市の動物」石川県珠洲市史工



○ 2♂♂	金沢市 医王山	1978. vi 26	伊は'
○ 2♂♂	"	1978 vi 30	井村
○ 6♂♂	"	1978 vii 1	工井
○ 6♂♂	"	1978 vii 2	吉村
○ 1♀	"	1978 vii 9	"

==== 文献 ====

- 1♀ 白山柳谷 1956 viii 16 (手塚氏)
- 1♂ 白山岩間 1957 viii 10 (堀氏)

—— 武藤明 (1958) 石川県の蝶 とつりはち 6 : 2-17

- 4♀♀ (30. vi 1971 重山入口〜菱広峠) 5♂♂ (25. vi. 1972. 重山麓)
- 2♂♂ (28. vi 1972 重山麓)

—— 嵯峨井淳郎 (1973) 医王山産の蝶 とつりはち 24.25 : 3-4

- 白山大万山. 岩間. 見定. 日尾. 医王山 白山〜大門山脈

—— 武藤明 (1971) 石川虫の会特別報告 : 14

## 17. ショウザンミドリシジミ

*Favonius cognatus* STAUDINGER

- データあり
- 文献による



### 《分布》

金沢市近郊では、医王山、キコ山の付近、倉ヶ岳、佐吉、大平沢など、広く分布する

が、能登地方からは、記録がない。

白山地方では、大万山、岩間山などで、採水している。本種は、捜せば、まだまだ産地が見つかると思われる。

### 《出現期》

医王山では、6月下旬〜7月中旬。活発に樹間を飛び回る。本種の早に限ったことではないと思われるが、早は、秋遅くまで生き残り、10月中旬の記録もある。

○ 2♂♂	金沢市医王山	1966 VII 28	工井
○ 1♀	〃 山川町	1969 IX 14	松井
○ 1♀	〃 医王山	1971 VII 13	工井
○ 1♀	〃	VII 24	〃
○ 1♂	〃 キコ山	1972 VI 25	松井
○ 3♂♂	〃 医王山	VI 28	工井
○ 1♂	〃	VI 30	〃
○ 1♂	〃	VII 1	〃
○ 4♂♂	〃 キコ山	VII 2	松井
○ 1♀	〃 医王山	VII 21	工井
○ 1♂	〃	1973 VII 16	〃
○ 1♂	〃	1974 VII 7	〃
○ 3♀♀	〃	VII 29	〃
○ 1♀	〃	1975 VI 30	〃
○ 2♀♀	〃	VII 5	〃
○ 2♀♀	〃	VII 6	井村
○ 11♂♂2♀♀	〃 倉ヶ岳	1976 VI 27	橋場
○ 4♂♂	〃 医王山	VI 30	工井
○ 2♂♂1♀	〃	VII 2	〃
○ 1♀	〃	VII 3	井村
○ 1♂3♀♀	〃	VII 4	工井
○ 2♂♂2♀♀	〃	VII 17	〃
○ 2♂♂	〃	(不明) 1977 V 28	井村
○ 1♀	〃	〃 VI 2	〃
○ 3♂♂1♀	〃	1977 VI 26	〃
○ 2♂♂1♀	〃	VI 29	〃
○ 3♂♂3♀♀	〃	VII 2	〃
○ 13♂♂6♀♀	〃	VII 2	工井
○ 1♂	〃	VII 3	井村
○ 3♀♀	河内村直海谷中三方岳	X 12	松本
○ 1♂	柳尾山北方600m桧 卵 (ミスナラ)	XII 4 1978 V 16	野中

○ 2♂♂	金沢市 医王山	(Ehnc) 1978	Vi 1	井村
○ 1♀	"	"	Vi 4	"
○ 1♀	"	"	Vi 5	"
○ 6♂♂ 3♀♀	"	1978	Vi 21	"
○ 2♂♂ 2♀♀	"	"	Vi 24	"
○ 3♂♂ 1♀	" 作吉町	"	Vi 24	野中
○ 7♂♂ 1♀	" 医王山	"	Vi 26	はらば
○ 1♂	"	"	Vi 29	さか井
○ 5♂♂	"	"	Vi 30	井村
○ 1♂ 3♀♀	"	"	Vi 30	野中
○ 12♂♂	"	"	Vii 1	さか井
○ 4♂♂ 1♀	"	"	"	松井
○ 6♂♂ 4♀♀	"	"	Vii 2	吉村
○ 5♂♂ 2♀♀	"	"	Vii 4	"
○ 1♀	" 国見山	"	Vii 2	野中

### ==== 文献 ====

○ 3♀♀ 1977. 10. 12. 石川郡河内村直海谷 中三方岳 松本和馬

—— 松本和馬 (1978) 石川県産蝶類の注目すべき記録  
とくりにち No. 41 : 5-6

○ 白山. 医王山

—— 武藤明 (1958) 石川県の蝶 とくりにち No. 6 : 2-17

○ 六万山. 岩間

—— 武藤明 (1971) 石川虫の会 特別報告 : 14

○ 日尾池. 大平沢. 板尾

—— 武藤明 (1972) 石川県のチョウトンボの追加資料.  
生物研究(福井) X. VI. 1. 2. : 15-16

以上で、現在石川県に生息している Zeph. をすべて羅列したわけです。1978年度 秋に、余力をあげて、ヒサマツ探察を行ないましたが、今だに見つからず。現在、17種だけとなっております。ウラジロ、ムヤシもいないようですが、このうち、何種かが見つかるといいます。また、確実に生息している Zeph. でも、分布が明らかに広がっていないものはかなりです。能登地区には、いくつか種もあるでしょうが、加賀地区低山帯は、捜せば、捜す程新産地が見つかると思います。—— 数少ない文献と、メモもつと少ない筆着の知見で、いろいろまとめてみました。文献が、お判り手に入ら

はかったので、落としていた産地もあるでしょう。また、筆者の独断で、書いてしまったところもたくさんあります。いろいろ指摘されれば、幸いです。  
 それから、たくさんの方のデータを提供して下さいました。どうもありがとうございました。

Zephのシーズン間断! 6月7日. 吉村久貴記

目	次	Page /
* はじめに	_____	1.
1. ウラゴマダラシジミ	_____	2.
2. ウラキンシジミ	_____	4.
3. ムモンアカシジミ	_____	5.
4. アカシジミ	_____	6.
5. ウラナミアカシジミ	_____	8.
6. オナガシジミ	_____	10.
7. ミズイロオナガシジミ	_____	10.
8. ウスイロオナガシジミ	_____	12.
9. ウラミスシジミ	_____	13.
10. ウラクロシジミ	_____	16.
11. ミドリシジミ	_____	18.
12. メスアカミドリシジミ	_____	20.
13. アイミドリシジミ	_____	20.
14. フジミドリシジミ	_____	22.
15. オオミドリシジミ	_____	23.
16. エゾミドリシジミ	_____	24.
17. ジョウザンミドリシジミ	_____	25.

### 編集後記

Zeph 特集号を出そうと、1つ1つ書いていたら、なんと、28ページの長編になってしまった。この型式が、bestだとは思わなかったけど、分担して、県産の蝶、すべてをまとめましょう。lets begin!

新刊 No.5 Zeph. 特集号 1979. VI. 8. 発行

発行：百万石蝶談会  
 金沢市三口新町 4-9-34 松井正人方 0762 (62) 8688

編集責任者：吉村久貴.